

放射線テレックス 2013 年 4 月号

チェルノブイリ原発事故から 27 年

チェルノブイリの放射性セシウムがいまだにブルーベリージャムに

Strahlentelex 630-631/4.4.2013

27 Jahre nach Tschernobyl

Weiterhin Tschernobyl-Radiocäsium in Heidelbeermarmelade

チェルノブイリの放射性セシウムがいまだにブルーベリージャムに

日本の横浜にある市民測定所が、ドイツのジャムメーカー「シュヴァルタウ」

(Schwartau) 製のブルーベリージャムにおいて 1 キロ当たり 22.2 ± 4.6 ベクレルのセシウム 137 による汚染を測定した。セシウム 134 は含まれていなかった。これは「Schwartau Extra Blueberry Jam」という製品名の、賞味期限が 2014 年 6 月 26 日のもので、原産国「ドイツ」と書かれた 340 グラムのガラス瓶入りのブルーベリージャムである。この製品のメーカーラベルは英語とギリシャ語で書かれている。

セシウム 134 がないことから、ここで使われたブルーベリーはチェルノブイリのフォールアウトによって汚染された地域で採れたものとみなすことができる。チェルノブイリ原発事故により発生したセシウム 137 は、27 年後の今もまだ半減期に至っていない。

横浜の市民測定所では、このブルーベリージャムは、全体のセシウム放射能としては日本で適用されている制限値 100 ベクレル/キロ範囲内であるが、2012 年 4 月から 6 月にかけて日本の厚生省がおこなった抜き取り検査で、オーストリアのジャムメーカー Staud (シュタウト)、フランスのメーカー Le Potager (ル・ポタジェ) そして Hediard (エディアール) に 140~220 ベクレル/キロの不特定の放射性セシウムによる汚染が見ついている、と伝えている。これらのジャムで使用されているブルーベリーはほとんどがポーランド原産で、ごく一部にウクライナ産のものもあった。ヨーロッパでは日本と違い、放射性セシウムの制限値は 600 ベクレル/キロだ。

横浜の市民測定所が比較として参照しているのが、日本の農林水産省が 2012 年 7 月始めから 8 月半ばまでに行った測定値である。日本製の新鮮なブルーベリーで検出された全体のセシウム量は 1~190 ベクレル/キロだった。この中で最大の放射線量を測定したサンプルは福島県と宮城県産のブルーベリーであった。市民測定所では福島県の農業総合センターを引き合いに出して「ブルーベリージャム製造では、砂糖やその他の調味料などを入れてもブルーベリーの放射能の量に変化は生じない」と述べている。(<http://ycrms.blog.fc2.com>)

(翻訳：無限遠点)